

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成29年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立育精福祉センター成人寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野3303-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和47年4月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積: 79,970㎡(児童寮を含む) ○建築延面積: 3236.11㎡ ○建物の構造: 鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60㎡ ・管理棟及び車庫の一部 151.26㎡ ○各障害福祉サービス定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護: 105人 ・短期入所: 9人 ・施設入所支援: 90人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家: 自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮: 生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム: 生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮: 生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (目標値)
利用者数	生活介護	99	101	101	
	短期入所	10	11	11	
	施設入所支援	89	90	90	
	利用者数合計	198	202	202	
	目標値	204	204	204	204
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対27年度比		102.0%	102.0%	
利用率	97.1%	99.0%	99.0%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成28年度	平成29年度 (計画値)	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (計画値)
収入	施設利用料	427,801,972	432,626,000	436,281,779	438,966,250
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	306,385	362,200	492,612	362,200
	収入合計(A)	428,108,357	432,988,200	436,774,391	439,328,450
支出	人件費	272,137,205	301,080,000	297,729,736	324,049,600
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	107,102,881	131,908,200	124,510,850	115,278,850
	うち外部委託費(B)	10,019,252	14,200,000	12,036,308	10,000,000
	支出合計(C)	379,240,086	432,988,200	422,240,586	439,328,450
収支差額(A-C)		48,868,271	0	14,533,805	0
外部委託比率(B÷C)		2.6%	3.3%	2.9%	2.3%
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施期間:平成30年1月 調査方法:利用者へのアンケート 回答数:99人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談や要望対応	49.5%	41.1%	9.4%	0.0%
プライバシー	62.8%	36.2%	1.0%	0.0%
食事	57.2%	34.7%	7.1%	1.0%
入浴や身だしなみ	68.4%	26.3%	5.3%	0.0%
健康管理	81.1%	15.8%	3.1%	0.0%
買い物や外出	58.1%	30.1%	9.7%	2.1%
施設全般の満足度	63.5%	32.3%	4.2%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①通所利用者から、送迎サービスが欲しい。 ②職員の名前が分かりづらいので、名札等配慮してほしい。 ③ドライブ、買い物など、もっと外出したい。 ④仲の良い友達と一緒にの部屋になりたい。 ⑤お風呂がぬるい。 ⑥家に帰ったり、家族に会いたい。 ⑦食事で同じメニューが続くことがある。 ⑧おやつが食べたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者の人数や個々の状況を検討し、法人全体の中で考えていきます。 ②職員の名前については、現在の玄関先での顔写真等を拡大したり複数配置するなど見やすくしていきます。 ③今年度も個別での外出等を計画しました。次年度も回数を増やしていきます。 ④居室については、利用者の意向に沿えるよう努めていきます。 ⑤児童部門と共同なのでどうしても量が足りなくなり、最終的にぬるくなってしまうことがあります。時間帯をずらすなどして対策を考えていきます。 ⑥家族との関係を密にして、面会や外出が出来るよう取り組んでいきます。 ⑦利用者さんに満足して頂けるよう魅力ある献立作成に努めていきます。 ⑧1日の摂取カロリーは給食の中で賅ってありますが、おやつについては、個別外出時などで対応していきます。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の不具合について、速やかな対処ができています。業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。 昨年度、利用者の重度化・高齢化に対応するため、特殊浴槽の設置を行うなど、利用者が安全に生活できるよう、施設のバリアフリー化を進めました。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 施設・設備の老朽化が目立つことから、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。
運営業務	個人の尊厳を尊重し、個人のニーズに合った支援を行い、重い障害のある方や高齢の方に、安全かつ安心して生活できる場を提供していくとともに、音楽療法や作業活動、余暇活動など日中活動を充実して利用者の生活の質を高めるよう、事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。 また、利用者の重度化・高齢化に対応した支援を推進するよう努力されたい。
利用状況	施設入所は定員一杯の状況が続いている。また、生活介護は通所者に若干の空きがあるが年度中に定員に達する見込みである。 各サービス事業の年間利用実績から、各サービスとも概ね計画どおり執行できた。	概ね計画どおりの利用が図られている。引き続き質の高いサービスを提供し、利用者数を維持すること。
収支状況	昨年度同様、施設の利用率が高く、施設利用料は増収となった。 引き続き、収入増への努力をする傍ら適切な支出に努め、安定的な運営ができるよう取組んでいる。	今後も、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに利用料収入の確保に努力されたい。
自主事業	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。 また、平成30年4月1日に開設した、育精成人寮がバックアップ施設となるグループホーム(みっとホーム)の開設準備を行った。	自主事業である日中一時支援について、昨年度より契約者が2名増え、事業計画書に基づき適正に実施されている。
利用者満足度	「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている。 今後においても、利用者の満足度を上げられるよう、生活全般にわたり見直すとともに、安全、安心な環境となるよう努めていく。	全体的には満足を得られているものの、食事や外出の項目では不満足と感じている利用者の割合が高いことから、引き続き利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	重い知的障害のある方が自立した生活が送ることができるよう、個別支援計画に沿った生活支援を行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。 個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。 利用者数は、生活介護101名、施設入所支援90名、短期入所契約者20名・延べ1159日と昨年同様高い利用実績であり、事業計画どおりの業務ができています。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	利用者数は増加傾向にあり、利用者の満足度が高く、保護者との関係も良好である。 個々の利用者の状況にあった個別支援計画に基づき、質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。 利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力している。 特殊浴槽を設置するなど、利用者の重度化・高齢化に対応するなど、障害者支援施設として適切な運営を行っている。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	引き続き利用者の満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努めていく。 今後も、条例、協定等に基づき施設管理運営業務を適正に履行していく。 利用者や保護者の意向や生活状況を踏まえて、自立した生活が営めるよう個別支援計画を作成し必要な支援を行っていく。 利用者の重度化・高齢化に対応した支援体制の構築に努めていく。	

7 管理体制(組織図)

平成29年4月1日現在

